

# 常任委員会レポート

## 総務産業委員会

### ごみ焼却施設と償却資産の税収を調査

平成30年1月30日、所管事務調査を実施しました。

#### 調査事項

(1) (仮称)鳩山新ごみ焼却施設 備事業の進捗状況

焼却施設整備事業の進捗状況では、事業者選定審査委員会にて事業者選定経過及び結果として、

(株)H環境エンジニアリンググループが事業者として選定され、事業概要、事業方式、契約の形態、事業期間、事業者選定方法及び審査手順調査を行いました。

泉井、上熊井の両地区

の総意として要望のあった、ダイオキシン類の排出自主基準値の見直しについては、地域において合意を得ていた0.1ナノグラムから0.01ナノグラムに排出自主基準値を見直す要望ですが、選定業者から0.01ナノグラムを保証値とする提案があり、地域要望を実現した焼却施設として整備に取り組むこととしました。

(株)H環境エンジニアリンググループが提案書を基に、埼玉西部環境保全組合に提出した運営事業概要に基づき、焼却施設整備の今後の事業スケジュールについて説明があり、平成27年3月に組合が作成した基本プラ

ンの完成イメージと、類似した内容でまとめられています。町道2号線からの搬入搬出は、敷地南側。全体配置は、北側中央に工場棟、南東側に管理棟、東北側に工場の広場を計画です。工場棟は地下1階、地上6階建て、高さ約33メートル、煙突の高さは59メートル。管理棟は、地上2階、高さ11メートル。焼却規模は日量130トン、65トンの炉を2炉整備します。

工事期間は、平成30年から平成34年9月迄の予定です。

#### (2) 太陽光発電施設に係る固定資産税

町内に1000キロワットを超えるメガソーラー発電所が、8箇所設置されている。小規模な太陽光発電の設置や家屋の屋根に設置されたものが多く、固定資産税は大幅にのびています。

## 福祉文教委員会

### ファミリー・サポート事業などを調査

平成30年1月25日、所管事務調査を実施しました。

#### 調査事項

(1) ファミリー・サポート事業

この事業は、育児等の援助を受けた人とその応援をしたい人たちのための相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業です。

「子ども・子育て会議」等を通じて、検討します。平成28年度に行った検討結果、アンケート結果などが担当課より報告されました。

地域における育児の相互援助活動を推進し、子育ての多様なニーズに対応することが目的です。アンケートでは、事業自体知らない人が多くいまし

時間が合わないわ助けがあれば...



たが、利用したい人は191人で、小学生以下の利用希望が多くありました。

協力者では、条件が合えばできると答えた人が14.6%程度ありました。国・県の補助事業で、利用者の登録数と協力者の登録数が50人以上必要です。対象児童は、0歳児から小学校6年生までが多いようです。

サポートセンターにアドバイザーが必要で、実施している近隣の毛呂山町、越生町、ときがわ町では、民間委託となつています。

主な事業は、保育園や学童保育などの送迎、保護者の外出時や病児・病後時などの預かりで、相互の取り決めで、1時間当たり700円〜800円、深夜等は200〜300円の割高となります。

2025年問題、2040年問題(団塊の世代やその子供が75歳を迎えるとき)に対応するための計画の改正を行い、平成30年度から32年度までの3力年間の目標値の設定などの計画策定をいたしました。

#### (2) 第7期鳩山町介護保険事業計画(案)

重点目標は、①健康推進事業②高齢者の生きがいづくりと社会参加③自立支援・介護予防・重度化防止の推進④医療と介護の連携体制整備⑤日常生活を支援する体制の整備⑥リハビリができるデイサービスの町内導入などがあります。

第7期の介護保険料は、準備基金を1億5420万円取り崩し、基準額(第5段階:所得80万円以上の世帯)は、1か月4100円から4000円に引き下げます(年間では4万8000円)。

# 一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

## 坂戸地区衛生組合

2月8日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は、埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について、平成29年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計予算の4議案でした。いずれも可決されました。

予算総額は歳入歳出2億6550万円で、鳩山町の負担金は2509万円です。  
今年度は破砕ポンプ、前処理機器、し尿以外のゴミを運ぶコンベア等の修繕費3130万円が見込まれています。

## 埼玉西部環境保全組合

2月15日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は7件。  
平成30年度予算は33億1522万円。前年より12億3066万円、59パーセント増です。  
(仮称)鳩山新ごみ焼却施設整備では、設計施

工監理等業務委託料5054万円や、施設建設工事費11億7568万円。  
高倉クリーンセンターでは施設管理事業1億9881万円など。設備の定期的な点検・修繕を実施し、平成34年度までの安定稼働をめざします。  
川角リサイクルプラザでは、稼働期間延長に伴う周辺対策事業費を1500万円増やし、昨年に続き基幹設備延命化事業3億2023万円の工事を実施します。

## (仮称)鳩山新ごみ焼却施設に係る契約

整備・施設事業

「(株)IHI環境エンジニアリンググループ」が落札者となりました。

建設請負契約(平成34年9月末まで)

IHI環境・三井住友建設・伊田テクノス

特定建設工事共同企業体

128億8915万円

運営委託契約(平成50年3月末まで)

株式会社鳩山環境サービス※

62億5485万円

※本事業の運営・保全管理を行うために、平成29年12月27日に設立された特別目的会社(株)IHI環境エンジニアリング、(株)クリーン工房が出資)

## 西入間広域消防組合

2月14日、第1回定例会が開催されました。提出された主な議案は平成30年度当初予算案で、歳入歳出とも12億5931万4千円で、前年度比で約12%の減額となりました。そのうち、構成する3町の常備消防費については鳩山町2億5891万円です。非常備消防費負担金の鳩山消防団費は2359万円です。鳩山消防団第2分団に消防ポンプ自動車の購入費が計上されました。審議の結果、可決承認されました。

## 毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

昨年12月18日に、第2回臨時会が開催されました。  
提出議案は、組合と構成3町との公共下水道使用料の徴収事務の事務委託に関する規約変更3件で、原案通り可決されました。

2月19日、第1回定例会が開催されました。管理者からの提出議案は、6議案。慎重審議の結果、全ての議案とも可決されました。

29年度補正予算は、歳入歳出それぞれ7190万円減額し、予算総額15億0463万円。  
30年度予算では、歳入歳出総額14億8342万円で、鳩山町の負担額は1億4163万円です。

## 広域静苑組合

2月20日に第1回定例会が開催されました。議案は条例改正や予算など4議案でした。

平成29年度補正予算では、歳入歳出それぞれ90万円増額し、予算総額8億4939万円とするものです。坂戸市が加入するために、越生斎場建設事業費の補正です。

平成30年度予算は歳入歳出総額17億2504万円と定めるものです。慎重審議の結果、可決

承認されました。

建設工事中の越生斎場は8月完成、10月引き渡し、12月本格稼働の予定です。



建設が進む越生斎場の完成予想図



議会でも視察してきました